

令和7年度第1回群馬県循環器病対策推進協議会 議事概要

日時：令和8年3月12日（木）16:00-17:00

場所：WEB会議

出席者：別紙名簿のとおり

1 開会

2 挨拶

3 議題

脳卒中・心臓病等総合支援センターの取組について

発表者

- 資料1について説明。

構成員

- 超聴診器を使った検診を群馬大学附属小学校を対象に試行的に行ったということだが、これは小学校入学時と小学3-4年生を対象としたのか。

発表者

- 新5年生を対象として行う予定。中学校でも行うが、対象学年について、中学校と相談中である。今後徐々に拡大させていきたい。

構成員

- 循環器病について、小学校や中学校に出前講座を行う予定はあるか。小中学校に対して啓発をすると、その情報が波及して親に伝わりやすく、間口が広がるというメリットがあると思う。
- 同センターの周知用の資料があれば共有してもらいたい。同協会として周知に協力できる。
- また、同センターのメールでの問い合わせが低調ということだが、メールは心理的なハードルが高く感じる方もいる。公式のLINEアカウントを取得して、友達登録をしてもらおうというやり方かどうか。

発表者

- 小中学校での出前講座については今年度の実施は難しかったが、他県でも有用であるということを知っており、群馬県でも今検討しているところ。
- 公式LINEアカウントの取得という具体的な提案をいただき感謝する。早速検討を始める。

移行期支援の取組について

発表者

- 資料2について説明。

構成員

- 移行期支援協議会を設置するということが、構成員については公募があるか。
- 心臓移植で3年以上待機している子どもたちのために、人工心臓や補助心臓を群馬県が購入することができるか。
- また、心臓病の子どもたちが成人した後、心臓病のためにローンが組めないというケースがあるが、この点について県の対応はできるか。

発表者

- 移行期医療支援センターについて、令和8年4月1日以降にセンターを運営するための協議会を設置する予定だが、公募委員を入れるかどうかも含めてこれから検討していく段階のため、いただいた意見を参考にしたい。
- 人工心臓等の医療機器への医療補助について、県感染症・疾病対策課には特段の情報がなくお答えできない。
- 金融機関のローンを組むことが難しいというケースについては、今初めて伺ったので、今後の参考とさせていただくが、現時点でお答えできる情報がない。

構成員

- 移行期支援センターは、小児科から成人科への一方通行というイメージの支援か。それとも、小児科から成人科への移行後に過去20-30年前の資料を確認したいことが度々あり、成人科から小児科へ情報を遡りたいときにもセンターの支援を受けられるか。また、ある成人科から別の成人科に移るときなどにも支援を受けられるか。
- 小児科と成人科、双方向の支援機能があるととても有用なセンターになると思う。

発表者

- 個々の患者や家族の困りごとを丁寧に聞き取りながら、複数診療科も視野に入れて医療の連携が図れるように調整を進めていきたい。

構成員

- 資料内のアンケートの分母や回答率が分かれば教えてほしい。

発表者

- アンケートは、中核市を除く今年度小児慢性特定疾病医療受給者証の更新対象者862名を対象に調査し、回収は359件、回収率は41.6%となっている。

第9次群馬県保健医療計画進捗状況について

発表者

- 資料3について説明。

構成員

- 群馬県で循環器内科医のなり手が少ないので、次回計画の見直しのタイミングで検討をお願いしたい。

発表者

- 現行の群馬県保健医療計画は令和6年度から始まり、来年度中間見直しを予定しているため、また相談させていただきたい。

その他

構成員

- 県医師会としても群馬大学附属病院と協力して地域医療に取り組んでいる。ただ、群馬大学附属病院一つで全県対応はできないため、前橋赤十字病院や群馬県心臓血管センターとも協力しながら、さらには医療だけでなく介護分野で高齢者施設とも連携して取組を拡げている。
- 本会には色々な職種の方が参加しているため、今後連携できそうなことがあればぜひ前向きに検討をお願いしたい。

4 閉会